

# 浜田養護学校の研究の取組

R5年度からの研究

# 研究主題

2 力年計画

「地域とともに  
児童生徒の深い学びを支える  
授業づくり」

～ ESDを通じて  
児童生徒の思考を深める手立てを考える ～

# 主題設定の理由 背景

昨年度までの2年間の取組より

テーマ「地域を知り、地域と共に学び合い、高め合う取組」

## 成果

- 実践の広がり
  - ◎活動の充実
- 児童生徒の自己有用感 達成感
- 地域の方の理解啓発の推進

## 課題

- 主体的・対話的で「深い学び」
- グランドデザインを踏まえた持続可能な取り組み

# 主題設定の理由 背景

- 教員のESDについての理解を深め引き続き実践する。
- 「深い学び」「思考を深めるための手立て」について研究を深め、授業づくりをより充実させる。

# 研究の目的

児童生徒が主体的に地域活動に関わり、ESDを通じて課題意識をもち、解決に向けて思考していこうとする力を育むための有効な手立てを、授業づくりを通して検証する。

# 研究仮説

SDG`s に関わる活動の指導案を作成する過程の中で、期待する児童生徒の気づきや思考を見える化し、それを引き出すための手立てを工夫することで、児童生徒が課題意識をもち、解決に向けて思考を深める姿を育むことができるであろう。

# 研究の方法

1. 各学部、寄宿舍を実践グループとする。
2. 毎月1～2回程度、学部研究会・舎研会を設け、グループで研究の方向性や実践について協議する。
3. 各学部においては、授業づくり・授業改善を目指した取り組みを行う。基本的に実践①を行い、授業改善ののち実践②を行う。（前期と後期で実践を行う）
4. 全校研究会において各学部・寄宿舍の情報交換と実践の共有を図る。
5. 各学部・寄宿舍とも外部講師による指導助言を受ける。密案授業を後期に1回を行い、授業研究会において協議する。
6. 地域連携センター・学習支援部と連携しながら実践を進める。  
（地域連携コーディネーターの活用）





# 研究の資料②

## 令和5年度 浜田養護学校 地域連携協働学習年間計画

本校で育てたい能力・態度

知力 心るまい

達成力 区働力 貢献力

ESDにおける7つの能力・態度

- ① 具体的に考える力 (問題を解いてみよう)
- ② 未来を予測して計画を立てる力 (未来を想像して計画しよう)
- ③ 多角的・総合的に考える力 (いろいろな方向から考えよう)
- ④ コミュニケーションを行う力 (誰かに知恵を伝えよう)
- ⑤ 他者と協力する力 (みんなで協力しよう)
- ⑥ つながりを確立する態度 (つながりを大切にしよう)
- ⑦ 進んで参加する態度 (すすんで参加しよう)

【地域資源(人・もの・こと)と関連して主題に關わるESD】

自然を守るろう	みんなが住みやすい町にしよう	伝統文化を受け継ごう
<p>環境・資源・エネルギー・気候変動・生物多様性・海洋</p> <p>小学部: 友だちや地域のひとと一緒に頑張る自然に誇りをもちたい</p> <p>中学部1年: 身近な自然について調べ、自分たちだけで自分たちのできることを考え行動しよう</p> <p>高等部1年: 地域のひとと協働して、自分たちだけでできない自然を守る取組に挑戦しよう</p>	<p>人権・福祉・消費・防災・健康・平和・芸術</p> <p>小学部: 地域の「もの・こと」に誇り、地域のひとと一緒に頑張ろう</p> <p>中学部2・3年: 地域の観光資源や特産品の良さを知り、自分たちでPRしよう</p> <p>高等部2・3年: 地域の誇りや二語を知り、伝えるために自分たちができるところを考え、実行しよう</p>	<p>地域の文化財・石川浄菜・郷土料理・方言・秋田茶・石川区・石川町</p> <p>小学部: 地域の文化財や伝統行事を知ろう</p> <p>中学部: 地域の文化財や伝統行事を知ろう</p> <p>高等部: 地域の文化財や伝統行事を知ろう</p>

<p>ESD 1/2/6 (地) 地元の産物(味噌・漬物)を生かした食育活動</p>	<p>ESD 1/2/6 (地) 地元の産物(味噌・漬物)を生かした食育活動</p>	<p>ESD 1/2/6 (地) 地元の産物(味噌・漬物)を生かした食育活動</p>	<p>ESD 1/2/6 (地) 地元の産物(味噌・漬物)を生かした食育活動</p>	<p>ESD 1/2/6 (地) 地元の産物(味噌・漬物)を生かした食育活動</p>
--	--	--	--	--

※今後の地域連携協働学習に向けて

\*月5: 学校と協立大学生が協働学習し、町づくり(町づくり)の取組を協議して行く。(協立大学の協立と連携する)

【その他のESD】

自然を守るろう	みんなが住みやすい町にしよう	伝統文化を受け継ごう
<p>小学部: 自然の恵みを知ろう</p> <p>中学部: 自然の恵みを知ろう</p> <p>高等部: 自然の恵みを知ろう</p>	<p>小学部: みんなが住みやすい町にしよう</p> <p>中学部: みんなが住みやすい町にしよう</p> <p>高等部: みんなが住みやすい町にしよう</p>	<p>小学部: 伝統文化を受け継ごう</p> <p>中学部: 伝統文化を受け継ごう</p> <p>高等部: 伝統文化を受け継ごう</p>

# 研究の資料③－ 1

文科省のHP

持続可能な開発のための教育

ESDの実践にあたって より

○どのように学ぶのか

「主体的・対話的で深い学び」の視点から、不断の学習・指導方法を改善することが重要

# 研究の資料③－ 2

文科省のHP

持続可能な開発のための教育

ESDの実践にあたって より

## ○どのように取り組むのか

ESDを効果的に推進するためには、ESDの実施を学校経営方針に位置付け、校内組織を整備して学校全体として組織的に取り組むこと、ESDを適切に指導計画に位置付けること、**地域や大学・企業との連携の視点を取り入れること**、児童・生徒による発信と学習成果の振り返りを適切に行うことなどが重要

# 研究の資料④ー 1

特別支援学校 学習指導要領解説 総則編  
第4節 教育課程の実施と学習評価 より

主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善  
3つの視点

- ① 学ぶことに興味や関心をもち、自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら、見通しをもって粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげる「主体的な学び」が実現できているかという視点

# 研究の資料④ー 2

特別支援学校 学習指導要領解説 総則編  
第4節 教育課程の実施と学習評価 より

主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善  
3つの視点

- ② 子供同士の協働、教職員や地域の人との対話、先哲の考え方を手掛かりに考えること等を通じ、自己の考えを広げ深める「対話的な学び」が実現できているかという視点。

# 研究の資料④ー 3

特別支援学校 学習指導要領解説 総則編  
第4節 教育課程の実施と学習評価 より

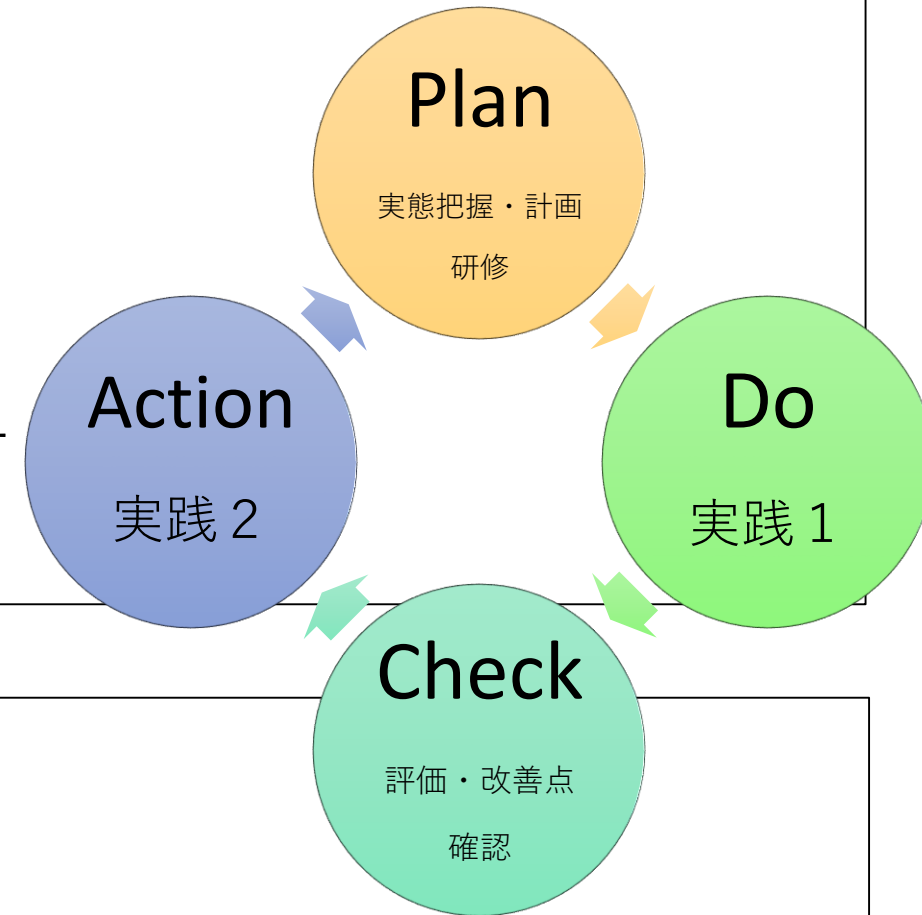
主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善  
3つの視点

- ③ 習得・活用・探究という学びの過程の中で、各教科等の特性に応じた「見方・考え方」を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう「深い学び」が実現できているかという視点。

# 研究計画【2か年計画】

## 【1年次】

- ① 地域連携協働学習年間計画の確認
- ② 児童生徒の思考を引き出す活動の検討
- ③ 期待する 児童生徒の思考する姿の検討
- ④ 児童生徒の深い学びを支える手だての検討
- ⑤ 計画・実践・評価



## 【2年次】

1年目の取組みを深める。

学んだ知識や技能を今の学びに関連付けて活用しようとする、「より質の高い深い学び」を引き出す手立てを明らかにする。

# 1年次 R5年度 研究計画

前期		後期	
4 / 2 7 (木)	全校研 学部研	9 / 2 0 (水)	学部研
5 / 1 8 (木)	学部研	1 0 / 1 8 (水)	学部研
6 / 2 6 (月)	学部研	1 1 / 2 1 (火)	学部研
7 / 3 1 (月)	学部研	1 2 / 1 3 (水)	学部研
8 / 2 5 (金)	研修 / 地域連携共同学習 中間報告会	1 / 2 2 (月)	学部研
		2 / 2 1 (水)	学部研
		3 / 7 (木)	全校研 報告会

**実践 1**

**実践 2**



# 1年次 R5年度 研究計画

- 夏季セミナー（8月） 深い学びに関する研修（計画中） 他  
\* 講義を聞き授業づくりに生かす
- 12月（仮） 中学部 授業力向上事業 第2回公開授業研（全員）  
\* 先生方全員で研修
- 後期 小学部・高等部 密案授業・授業研（各グループ）  
\* （各グループで提案授業1）◎指導・助言を受け、授業づくりに生かす

## 指導助言・講演講師

夏期セミナー 未定

中学部 岡山大学 丹治敬之（たんじ たかゆき） 先生

小学部・高等部 島根県教育センター 要請訪問（検討中）

寄宿舎 島根県教育センター浜田教育センター 岩上 指導主事